

日教組香川 2021. 2



発行所 日教組香川教職員組合
〒760-0008 高松市中野町15-24
佐藤ビル1F

TEL 087-802-1640
FAX 087-802-1642
URL <http://www.jtu-k.com/>
E-mail jtu-kagw@triton.ocn.ne.jp

発行人 嶋村太伸
毎月1日発行

なぜ県教委の人事異動基本方針等が

一人ひとりに届かないのか



1.28県教委交渉

工代県教育長(右)と手交する嶋村日教組香川委員長(左)

香教組でもない、
香教連でもない、
高教組でもない



日教組香川HPへ

全国で一番なかまの多い 日教組香川へ

人事担当者はしっかり希望調査を見なくてはならない

1月28日(木)、日教組香川は、香川県教育委員会と年度末人事異動等に関して交渉を行いました。参加は嶋村中央執行委員長他6名、県教委からは工代教育長他10名が出席しました。

交渉では、人事異動基本方針等が教職員一人ひとりに説明できていなかったり、届かなかったり、人事面接担当者が、個々の事情を把握していなかったりしている現状を指摘しました。

裏面の個人の記述欄を重視したい

日教組香川「人事異動は教職員の重大な勤務条件の変更であることを確認し、その生活と権利を保障すること。そのため、本人の希望を十分に尊重すること」

県教委「人事異動については、本人の事情等も考慮した上で、市町教育委員会の意見を聞きながら、基本方針と基本的な考え方にに基づき、任命権者の権限と責任において公平・公正に実施するものである」

日教組香川「回答にある『本人の事情等も考慮』とあるが具体的にはなにか」

県教委「一人ひとりの仕事や家庭、育児、介護の状況等、調査票をもとに考慮したい」

日教組香川「個人の健康状態についても、ストレスチェックの結果等、十分に考量されると考えていいか」

県教委「今年度新たに、裏面に個人の記述欄を設けている。重視したい」

日教組香川「希望に添わない人事異動になるとモチベーションが上がらない。その人事異動に関しては、説明責任があるのではないかと。面接をして説明できる場面を設定するよう要望する」

ハラスメント含め、一人ひとりの状況を把握するために時間をかけて確認したい

日教組香川「人事異動に関して、「公立学校教職員人事異動基本方針」「基本的な考え方」が、確実に教職員一人ひとりに行き渡るよう、さらに市町教育委員会関係者を指導すること」

県教委「令和3年4月公立学校教職員人事異動基本方針については、教職員調査票配布前の令和2年11月17日に各市町教育委員会に、令和2年11月18日に各学校に、文書及びメールで義務教育課から直接通知している。今後とも市町教育委員会教育長会や校長会等の機会に周知してまいりたい」

日教組香川「『公立学校教職員人事異動基本方針』『基本的な考え方』学校現場で全く説明されていない」

県教委「校長会でも説明した」

日教組香川「今回、提出が早くなった理由も全く説明され



日教組香川

ていない。『「教職員調査票」の配布及び提出期限が早くなった理由については、「職員調査票」の裏面の形式を変更したが、ハラスメント含め、一人ひとりの状況を把握するために時間をかけて確認したいからである。』でいいか」

県教委「そうである」

日教組香川「県教委の方針が、学校現場の一人ひとりに下りてこないことに、たいへんな危惧を覚える。どうしてこうなったか調査し、来年度はこのようにならないことを強く要望する」

裏面の内容を鑑み、必要な対応は行う

日教組香川「裏面に「現在の職場や、一身上…」の欄ができたが、この内容に関して、本人にどのようにフィードバックするのか。教育事務所も市町教委の面接担当者は、面接者の「現在の職場や、一身上…」の欄を見ていないことがわかった。こんなことで面接はいいのか。」

県教委「裏面の内容を鑑み、必要な対応は行う」

調査票の性別欄は見直しを図りたい

日教組香川「来年度からは、調査票の性別欄を無くすこと」

県教委「教職員調査票の様式については、性別欄も含め、必要に応じて見直しを図りたい。検討する」

管理職の適格者とは、人格が高潔で、教育の識見がある、学校経営能力もあること

日教組香川「教育諸問題の解決のため、管理職には、以下の条件を備えた人材を登用、配置すること。

- (1) 人物・識見・経営能力等に優れていること。
- (2) 職員との信頼関係を構築できること。
- (3) 労務管理等のマネジメント能力があること。
- (4) 人権・同和教育の実践と人権感覚が卓越していること。
- (5) インクルーシブ教育を推進する感覚が卓越していること。
- (6) ハラスメントに対して管理職として適切な対応ができること。

県教委「適格者の登用に努めている」

日教組香川「適格者とは？」

県教委「適格者とは、人格が高潔で、教育の識見がある、学校経営能力もあることだ」「人権尊重の精神で学校づくりを進められることだ」「特別支援教育の視点で、学校全体で子ども一人ひとりを見られることだ」

日教組香川「管理職に劣化が激しい。管理職がこのままで働き方改革などすすまない。研修の充実を強く要望する」

来年度35人学級は拡充する

日教組香川「35人以下の少人数学級については、県単独



県教委

の予算措置等により小学校及び中学校全学年に拡大し実施すること」

県教委「国は、公立小中学校の少人数学級について、令和3年度に小2を35人とし、その後学年ごとに順次引き下げ、2025年度に小学校全学年で35人学級を実現する方針を固めている。こうした状況を踏まえ、県として、小・中学校全学年の「35人学級」を実施する必要があると考えており、今後も国の動向を注視しながら、教育課題に対応した指導体制の充実に努めたい」

日教組香川「来年度35人学級は拡充すると考えていいか」
県教委「そうだ」

ハラスメント対策については、校長会においても指導している

日教組香川「学校におけるパワーハラスメント防止のための指針の策定及び各ハラスメント防止のための指針の改正を早急に行うこと」

県教委「市町教育委員会教育長に対し、香川県教育委員会が制定した「職場におけるパワーハラスメント防止等に関する方針」を通知しており、ハラスメント対策については、校長会においても指導している。また、啓発資料「ハラスメントのない快適な職場づくり」を改正し、教職員に周知を図っていく。

日教組香川「パワハラ当事者同士が同じ職場にいる事を避けるためにも、パワハラが起こった現場の人事は特例で処置することを強く要望する」

人事担当者は、しっかり希望調査票を見なくてはならない教育長「制度をつくっても運用で変わることを感じた。人事担当者は、せつかく書いていただいた希望調査票をしっかりと見なくてはならないのだが……研修の充実と精選で意識改革を盛り込んでいきたい」



教育長

令和3年4月公立学校教職員人事異動基本方針

香川県教育委員会

県民の信頼に応える公教育を行うためには、全ての教職員が教育に携わる公務員として職責の重大性を自覚し、情熱を持って教育の充実に取り組む必要がある。あわせて、各学校が校長のリーダーシップのもと、子どもたちの夢と笑顔を大切に、香川県教育基本計画の基本理念である「夢に向かってチャレンジする人づくり」を目標に、自主的・自律的に特色ある教育活動を展開していく必要がある。

こうした課題に対応する観点から、学校の運営体制をより充実するとともに、一人一人の教職員の職能成長を図るため、次の人事異動基本方針に沿って、全県の視野に立ち、計画的に、そして、適切に人材を配置する。

- 1 魅力ある学校づくりを推進し、教育活動の一層の充実を図る。
- 2 教職員については、長期的展望に立って、適材を適所に配置する。
- 3 管理職については、適格者を登用し、全県の視野に立って配置する。

令和3年4月市町(学校組合)立小中学校教職員人事異動の基本的な考え方

香川県教育委員会教育長

1 魅力ある学校づくりを推進し、教育活動の一層の充実を図る

- (1) 学校が、保護者や地域住民と連携・協働して特色ある教育活動が展開できるよう、リーダーシップを持つ校長の具体的な学校経営方針等を踏まえた人事配置に努める。
- (2) 知識及び技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力、人間性等の涵養のための教育の実現に向け、きめ細かな指導体制の充実に必要な人事配置に努める。
- (3) 暴力行為、いじめ等の問題行動や不登校等の実態を踏まえた各学校の対応方針に応じて生徒指導体制や教育相談体制の充実・強化が図られるよう人事配置に努める。
- (4) 学校における長時間勤務の是正や業務改善等の環境づくりが推進されるよう、働き方改革の視点も踏まえた人事配置に努める。

2 教職員については、長期的展望に立って、適材を適所に配置する

- (1) 各学校の課題解決が図られるよう、市町(学校組合)教育委員会との連携

を密にし、その意見を踏まえた人事配置に努める。

- (2) 各学校における教職員構成については、年齢・勤務経歴・特技等を勘案した配置に努める。
- (3) 同一校在职期間については、特別な場合を除き、以下の考え方による。
 - ① 原則として、同一校勤務3年以上の者を人事異動の対象とする。
 - ② 特に、同一校勤務6年以上10年未満の者については、積極的に人事異動を行う。
 - ③ さらに、同一校勤務10年以上の者(定年前教職員は除く)については、必ず人事異動を行う。
- (4) 地域間人事交流を推進する。
 - ① 教職員の資質能力の向上、学校の活性化を図り、もって本県の教育水準の維持向上に資するために、全県の視野に立った地域間人事交流を推進する。その際、教職員のキャリアステージを考慮し、計画的な人事交流を行うこととする。
 - ② 教職員は、小豆地域、さぬき・東かがわ地域、高松・讃岐地域、坂出・綾歌地域、丸亀・仲善地域、三豊・観音寺地域の6地域のうち、異なる2地域以上に勤務することを原則とする。
 - ③ 次のⅠ・Ⅱ・Ⅲを経験した者は異なる地域の勤務を経験したものとみなす。
 - Ⅰ へき地(準へき地を除く。)又は転居を要すると認められる地域への勤務
 - Ⅱ 他の校種(小・中)、県立学校、国立大学法人への勤務
 - Ⅲ 行政機関、県外交流での勤務
 - ④ 新規採用教職員としての配置は含まない。
- (5) 主幹教諭については、学校の組織体制充実のために、全県の視野に立って配置する。
- (6) 指導教諭については、若年教員の育成や学校全体の授業力・指導力向上のために、全県の視野に立って配置する。
- (7) 新規採用教職員については、本人の経歴や適性等を考慮し、学校規模・市町等を勘案して配置する。なお、配置後は、以下の人材育成の視点に立った人事異動を行う。
 - ① 採用後10年間程度は、学校規模・校種・市町等を勘案した配置により、複数の勤務校において多様な経験を積む中で視野を広げ、基礎的な資質能力の向上及びミドルリーダーとしての素養の育成を図る。
 - ② それ以降は、それまでの勤務経歴・特技等を踏まえた適材適所の配置により、地域に根ざした学校づくりを推進する中で能力の拡充を図る。

3 管理職については、適格者を登用し、全県の視野に立って配置する

- (1) 年齢・性別にとらわれることなく、経営能力や柔軟な発想、強いリーダーシップを有する意欲ある人材の登用と全県の視野に立った配置に努める。
- (2) これからの学校経営に特に求められる管理職としての資質・能力の向上と、適格者の登用を目的とする管理職候補者登録制度により、管理職にふさわしい人材の育成に努める。
- (3) 副校長については、小中一貫(連携)教育校等に配置する。

令和3年4月県立学校教職員人事異動の基本的な考え方

香川県教育委員会教育長

1 魅力ある学校づくりを推進し、教育活動の一層の充実を図る

- (1) 学校が、保護者や地域住民と連携・協働して特色ある教育活動が展開できるよう、リーダーシップを持つ校長の具体的な経営方針等を踏まえた人事配置に努める。
- (2) 各県立学校及び高松第一高校(以下「各学校」という。)の実態に応じて、児童生徒が予測困難な未来を生き抜くために必要な力を育成できるような人事配置に努める。
- (3) 暴力行為、いじめ等の問題行動や、不登校、中途退学等の実態を踏まえた各学校の対応方針に応じた生徒指導体制や教育相談体制の充実・強化が図られるよう人事配置に努める。
- (4) 中高一貫教育や特別支援教育の充実が図れるよう人事配置に努める。
- (5) 児童生徒の減少期においても、各学校が活力に満ち、児童生徒の多様なニーズに応じた学びが展開できるような人事配置に努める。
- (6) 学校における長時間勤務の是正や業務改善等の環境づくりが推進されるよう、働き方改革の視点も踏まえた人事配置に努める。

2 教職員については、長期的展望に立って、適材を適所に配置する

- (1) 各学校の課題解決が図られるよう、校長の意見を踏まえた人事異動に努める。
- (2) 各学校における教職員構成については、年齢・勤務経歴・特技等を勘案した配置に努める。
- (3) 同一校在职期間については、特別な場合を除き、以下の考え方による。
 - ① 原則として、同一校勤務3年以上の者を人事異動の対象とする。
 - ② 特に、同一校勤務10年以上15年未満の者は、積極的に人事異動を行う。
 - ③ さらに、同一校勤務15年以上の者は、必ず人事異動を行う。
- (4) 地域や学校の実態に応じ、全県の視野に立った配置や校種間交流に努める。
- (5) 主幹教諭については、学校の組織体制充実のために、全県の視野に立って配置する。
- (6) 新規採用教員に対する初任者研修等の研修体制を勘案して配置を行う。

3 管理職については、適格者を登用し、全県の視野に立って配置する

- (1) 年齢・性別にとらわれることなく、経営能力や柔軟な発想、強いリーダーシップを有する意欲ある人材の登用に努める。
- (2) 各学校の教育力の維持、向上を図る観点から適切な人事配置に努める。
- (3) 副校長については、中高一貫教育校の併設中学校に、配置する。

日教組第70次教育研究全国集会 すべての子どもたちのゆたかな学びを 保障するインクルーシブな学校づくりを!

1月23日(土)、日教組は第70次教育研究全国集会を初めてオンラインで開催しました。全体集会のみの開催でしたが、全国各地から多くのなかまが参加しました。

まず「全国教研70年のあゆみ」を視聴し、1951年の第1回教育研究全国大会から70年にわたる教研活動の歴史と成果をふりかえり、その重要性を再認識するとともに、次世代への継承と分会からの討議を積みあげ、深める組織教研を今後も力強くすすめることを確認しました。

記念講演では、NPO法人 Dialogue for People 副代表で、フォトジャーナリストの安田菜津紀さんから、「写真で伝える紛争地域、被災地の子どもたち」と題し、紛争地域の子どもや東日本大震災の被災地の子どもの実相を、「今生きていること」に寄りそう取材と写真を通して知り、「共感の種を育てる」ことを共有しました。

シンポジウムでは「新型コロナウイルス感染症拡大状況と子ども・学校・社会」をテーマに、全国各地をつなぎ、学校休業中や再開後の状況、厳しい生活環境や不安、あきらかになった課題などを共有しました。そして、小学生、中学生、高校生、専門学校生、保護者、教職員、研究者のみなさんから、これからの学校・社会のありようについて、それぞれの視点から提言がありました。

オンライン参加者の感想から

特に2点、印象に残った。

1つは、全体講演の安田さんの写真と語りです。その中で、東日本大震災で遺体の捜索に当たった消防士の方が語る義母と犬の話では、せつなく、何とも言えない気持ちになりました。

2つめは、シンポジウムでのICTを活用した教育のあり方です。ICTの普及により様々な背景を持つ生徒たちへ教育の機会が保障されやすくなります。しかし、私がICTを活用した効果的な授業をできるのかという不安が残ったシンポジウムでした。

全国教研は対面でも配信でも自分自身が学び続けることの大切さを、改めて実感させられるものになりました。

(作江康治 三・和光中)

安田さんの講演では、国内外の被災地、紛争難民の生活を、写真を交えて伝えてくれました。シリアの被災地の子どもたちの声の中にある「本当に私たちを苦しめているのは世界が自分たちのことに関心をもちないこと」にはっとしました。機会あるごとに子どもたちに『伝える』

ことをわすれてはいけないなと思いました。

また、「将来どの子どもがどんな環境にあっても、どんな未来を切り開いたとしても必ず持ち寄り合えるそれぞれの役割があることを伝えてほしい。」と言う言葉も印象的でした。

一人ですべてはできないからこそ、それぞれができることをやろうというメッセージも子どもたちにぜひ伝えたいと思いました。(沢地 淳 東・引田小)

安田さんは、高校時代に「国境なき子どもたち」の友情のレポーターとしてカンボジアで、トラフィックチルドレン(人身売買の被害に遭った子どもたち)と出会った。そして、自分が受けた辛い経験より、自分の家族、大切な人たちの窮状を訴える、その強さ・優しさに打た



れ、自分にできることは、目の前の現状を多くの人たちと共有すること＝伝えることだと思ったという。

今、世界中に8000万人にも及ぶ難民がいる。自分たちに何ができるか。一人で全てのことはできない。役割分担こそが大切で、少しずつそれぞれが役割を分かち合うことが必要だ。

教師である自分が日々できることは何か。それは子どもたちと外の世界との架け橋になることだろう。今関わっている子どもたちの現状を広く社会に伝え、社会に起こる様々なことを子どもたちに伝える。これが全国組織としての我々日教組の役割ではないかと強く思った講演だった。(岡本武史 高・浅野小)

女性部学習会

未来に焦点を当てる

12月28日(月)、コロナ感染予防対策を十分にしながら、人数を制限した上で女性部冬の学習会を開催しました。

今回の学習会では、高松大学講師で、臨床心理士、公認心理士の織田美幸さんを講師にお迎えして、『「話の聞き方」をスキルアップ!』をテーマに、話の聞き方の基本である「傾聴技法」を復習した上で、解決志向の話の聞き方について学習を深めました。

教員生活も30年以上を経過すると、「うん、うん、そうだね」と相談者を受け入れているかに見えて、無意識のうちに[指導]してしまう教師面の私がいま。[指導]を求めている相談者に対してならばよいでしょうが、どの相談者に対しても、「あなたの問題を解決に向かわせてあげましょう」という姿勢でいることは、全く問題を解決できないばかりか相談者を遠ざけてしまうことに気づかされました。

「どうしてこうなったんだろう」と過去に目を向けるのではなく、「解決したらどうなっている?」と、未来に焦点を当てるのだという話は、相談者のみならず自らの問題解決にもつながるのだと、目から鱗が落ちる思いでした。

学習会参加者の感想から

○傾聴技法の具体的な言葉一分かかると、一分かかるとか、絶対に違ふときは、一もしそうだったらしんどいよねー、一いやだねーなど、事実は本当かどうか分からないけれど、感情に共感する

などと話された言葉がすくと落ちました。また、解決に向けての質問のところでは、ついついすぐそこまで変化を願ってしまいがちなのですが、一期待せずに行い、自信をつけていく一、一生き抜く知恵を引き出す一など、活用できること満載でした。○保護者とのカウンセリングに限らず、教員同士の相談にも活かせると思いました。このところ、若手の悩みにつきあうことが多いのですが、初任者指導、若年指導では、「こうあるべき」と言われて、「できないのに…」と悩んでいる若手が多いです。経験が浅くても、自分で出した答えはやり通そうとするのは子どもと同じで、いろんな場面に応用したいと思いました。

○経験を積んでいても、なかなかうまくいかない苦しさを感じるときがあります。今回のような研修は、学びであるとともに、癒やしの時間でもありました。

今回の資料をご希望の方は日教組香川までご連絡ください。次回学習会は3月27日(土)10時より、丸亀で予定しています。



織田美幸さん

小学校の35人学級へ 義務標準法が改正に

◇2021年度 文教関係予算案◇

昨年12月21日に政府が閣議決定した2021年度の政府予算案のなかで、これまで財務省の硬い姿勢に拒まれていた35人学級への道が開かれることになったことは、各種メディアでも大きく報じられました。ただし、画期的な局面でありながら、学年進行による小学校のみの改善であるなど、今後、より良い定数改善実現を求めるうえでの課題も見られます。35人学級関連以外も含め、2021年度文教予算案を見ていきましょう。

加配定数振り替え頼みの克服を

文部科学関係予算案のうち、文教関係予算案は前年度比87億円減の4兆216億円が計上されました。いわゆる35人学級に関して文部科学省は、「少人数によるきめ細やかな指導体制を構築するため、義務標準法を改正し、小学校について学級編制の標準を5年かけて、学年進行で35人に計画的に引き下げることとし、学級編制の標準の引下げ及び、引下げにともなう副校長・教頭や生徒指導担当教員などの教職員配置の充実のための定数改善を図る」としており、今後5年間にこのために見込まれる改善総数は1万3574人とされています。来年度はこのうち、小学2年の整備分として、519人を35人学級実現分とし、副校長はじめ、少人数学級実現にともなう教職員配置の充実分として225人、計744人が改善数とされます(右の表参照)。なお、現在は小学2年生が加配により35人学級が実現されているものの、22年度以降も、加配定数の振り替え頼みを継続するということであり、専科指導や複数指導など、これまで行われていた指導法の工夫改善がおろそかになることが懸念されています。財務省幹部が、「政策では負けたが、財政の影響はほとんどない」としていたとの報道がありました。振替えでない、いわば真水を増やす方向での高校までに至る少人数学級実現という運動が、い

少人数によるきめ細かな指導体制の計画的な整備 +744人

○少人数によるきめ細かな指導体制の計画的な整備 (内容)

少人数によるきめ細かな指導体制を構築するため、義務標準法を改正し、小学校について学級編制の標準を5年かけて、学年進行で35人に計画的に引き下げることとし、学級編制の標準の引下げ及び、引下げに伴う副校長・教頭や生徒指導担当教員などの教職員配置の充実のための定数改善を図る。

(改善内容・改善数)

改善事項	改善総数	3年度改善数
35人学級の実現 (小学校全学年)	12,449	519
少人数学級実現に伴う 教職員配置の充実	1,125	225
・副校長・教頭の配置充実	(480)	(96)
・生徒指導・進路指導担当 教員の配置充実	(165)	(33)
・事務職員の配置充実	(480)	(96)
計	13,574	744

(年次計画)

	R3	R4	R5	R6	R7	計
改善数	744	3,290	3,283	3,171	3,086	13,574

(文部科学省資料より)

よいよ重みを増していくこととなります。子どもたちの抱える様々な課題は、昨今の格差拡大、貧困の深化によって、小学生であれ高校生であれ等しく免れないものとなっています。こうした点からも、少人数学級の高校までの保障が要請されているといっているように。

少人数学級拡大へ、なお課題

日教組香川応援企画 香川レインボー映画祭開催

2020年12月5日(土)、日教組香川応援企画でもあります「第16回香川レインボー映画祭」がオンラインで開催されました。性とライフスタイルの多様性をテーマに上映作品は5作品でした。

鑑賞者の感想から

A、D、Eの3つのプログラム作品を鑑賞しました。

Aプログラム『受け入れて』は、青年期のトランスジェンダーが周囲と葛藤しながら生きる意味を模索す

る作品、Cプログラム『ナナサン』は、多様な性志向をもつ男女3人の共同生活の中で愛することの本当の意味を考えていく作品でした。

Eプログラム『I Am Here・私たちはともに生きている』は、トランスジェンダー浅沼智也監督が様々な立場、年代、治療経歴をもつ当事者のインタビューを集めたドキュメンタリー映画で、2004年に作られた性同一性障害特例法について、今それぞれの考えや思いを率直に述べられており、トランスジェンダーを

取り巻く現状とその歴史、今後の課題がよくわかる作品となっていました。上映後には、監督や出演者がリモートでトークセッションに出演し、コロナ禍以前から温めていた作品がようやく上映されたこと、LGBTを取り上げた作品で演者が苦労したところ、監督の熱い思いなど作品の裏側も垣間見ることができました。

初めての完全リモート開催ということでしたが、家でゆっくりと観ることが出来たり、リアルタイムに質問が出来たりと、オンラインならではの参加ができて満足でした。

教育実践講座 II

算数の授業で役立つ小技や小ねた⑩

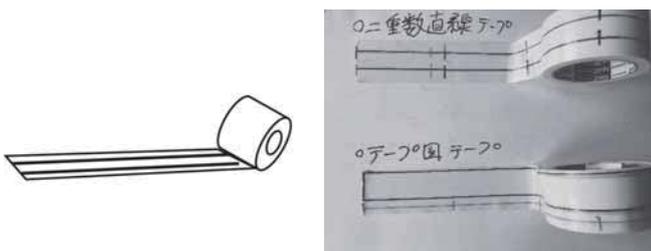
石原清貴(元小学校教員)

1 養生テープは使える

養生テープというのをご存じでしょうか？ガムテープと違って、貼った後ではがせるガムテープです。実はこのテープがとっても役に立つのです。以前にこのテープを使って円周率を確かめる事が出来るというレポートを発表しましたが、今回はこのテープが単位当たり量や速度の授業でとても役に立つというお話です。

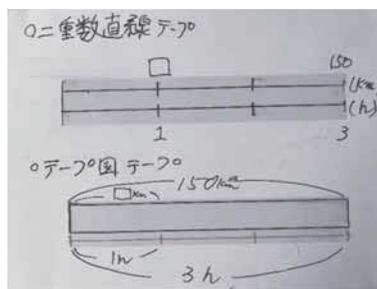
「速さ」の授業で使われる図は二重数直線図がメインになっています。私としてはテープ図の方がお勧めなのですが、教科書が二重数直線になっているのでほとんどの先生は二重数直線図を使うと思います。どちらを使うにせよ毎回黒板に直線を引くのは結構大変です。

そこでお勧めなのが養生テープに予め、直線を書き込んでおいて、黒板に貼り付けるというやり方です。



(養生テープは黄色がいいです。また、テープに油性マジックで線を書き込んだら、油性インクが乾くまで巻き戻さないで下さい。裏移りします。)

2 使い方



この画像は **150kmを3時間で走る車の平均速度はいくら？** という問題を二重数直線とテープ図で表したところです。

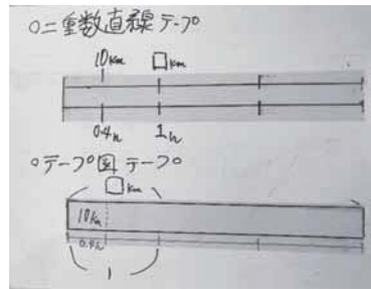
・二重数直線は「数対応図」です。3の時150だから1の時はいくらなのという考え方になります。(比例で考えます)

・テープ図は3つで150だから1つ分は150÷3になるという考え方をします。(こちらは等分除です)

さて、距離÷時間が整数÷整数だとどちらの図でもできるのですが、整数÷小数や÷分数になるとたちまち混乱を引き起こします。



石原清貴氏



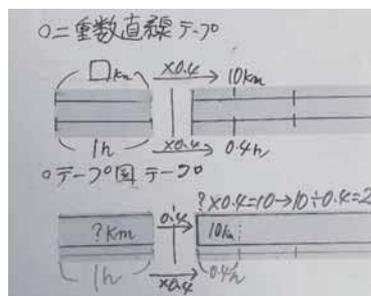
・二重数直線の方は時間が小数值になったときに0.4時間を1時間の0.4倍になっていると捉えることが困難になります。そこで、上の直線の数値10に対応する下の直線の値0.4

で割ることで1時間当たりの距離が求められるという風に説明せざる得なくなります。これは意味が分からないけれどくこうやったら答が出せる方法だけの理解に陥ります。

・テープ図の方もこのままではかなり理解が難しくなります。一旦0.1時間当たりの距離を図操作で求め、それを10倍するといひ。(10÷4×10というやり方)で指導する以外にないのです。結構理解に手間取ります。

3 養生テープはこんな事が出来る

実は養生テープを使うと下の画像のようにく1時間当たりの道のり=速度>を取り出して図示する事が簡単に出来るのです。



文科省の算数指導要領では**速度**はあくまでも**異種の量の割合**というとらえ方をしているく**量1当たり量**

くせ公式では「**速度×時間=道のり**」という表記をしています。この表記通り図示すると上の図のようになります。そして1時間当たりの距離X×0.4時間=10km

つまり、1時間当たりの距離は分からない「X」だけれど0.4時間で10km進んだ。これを公式に当てはめるとくX×0.4=10>というかけ算式に表す事が出来る。そうすると10を0.4倍で割ると1当たり距離(速度)を求めることができる。この理屈は割合の学習を終えたばかりの5年生にとってさほど難しくはないと思えます。(難しい子もいますが)

今回は速度の問題を使って養生テープが使えること、また、二重数直線やテープ図から1当たり量を取り出す事が容易であることを報告しました。速度の授業で使われるといいと思えます。

気持ちよく、安心して働けていますか？

電話相談会、実施！

相談には
臨床心理士が
あたります

2021年2月18日(木) 18:30~20:00

パワハラ、セクハラ、マタハラ等、職場の人間関係の相談ごと、お気軽にご相談ください。日教組香川役員、臨床心理士が対応させていただきます。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、JTU-カフェは当分お休みさせていただきます。

フリーダイヤル、0120-27-5925

教職員共済生協の 総合共済

なら、業務中に起こった
賠償事故も補償します！

総合共済は月掛金900円 契約期間5年で、実質月掛金は500円になります

給食費を賠償

運動会が悪天候により延期され、平日開催となった。そのため開催日の給食を止める連絡を給食センターにするべきところ担当者が失念。外部委託の給食センターに賠償。

総合共済からの
お支払い実例

約 100,000 円

部活中の事故

部活でサッカーの練習中、生徒が蹴ったボールが塀とフェンスの隙間から外部へ飛び出し通行中の自動車に損害を与えた。契約者がサッカー一部の顧問として練習に立会い指導中の事故。

総合共済からの
お支払い実例

約 250,000 円

厚生労働省認可

教職員共済生活協同組合 東四国事業所

〒760-0004 高松市西宝町2丁目6-40 香川県教育会館

電話 0120-27-8140 FAX0800-200-2207

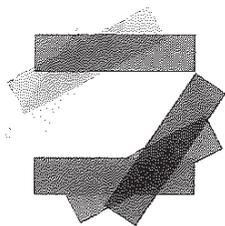
カナリア通信

対症療法

◆昨年と違って寒い冬となった今年。寒気と暖気による温度差も大きく、身体に応える年です◆寒い日は、いつの間にか体に力が入っていて、肩が凝ったり歯が痛くなったりしています。五十歳を過ぎた頃、ぐらついていたら一本の歯の根を切って、虫歯になっていなかった歯の部分も両側の歯に固定しました◆日々、歯をかみしめていて、その圧が強くなっていたところが痛んでいたのです。今は、マウスピースを使って、圧力が一点にかからないようにしています◆行動は簡単に変えたり止めたりできませんが、ダメージを防ぐことはできています。年齢と共にガタが出てきている体の声を聴きながら、気持ちよく過ごせるように、対症療法に励んでいます。

署名を呼びかけます

#日本にもLGBT平等法が必要です



#EqualityActJapan

日本にもLGBT平等法を

EqualityActJapanは、

日本に「LGBT平等法」を制定するため、

「東京オリンピック・パラリンピック競技大会」

を契機に行われる国際署名キャンペーンです。

なぜLGBT平等法が必要？

トランスジェンダーであることを伝えると、
内定を取り消されてしまった。

お客さんから「なんだあのオカマは、担当を変える」
と言われ上司から異動を命じられてしまった。

児童養護施設で「トランスジェンダーの
児童が暮らせる空間はない」と
入所を断られ、家庭に戻されてしまった。

職場では結婚が実質的な昇進の条件に
なっているが、
同性パートナーがいても昇進できなかった。

こうした差別からLGBTの人々を守るための法律が日本にはありません。

※LGBT 法連合会「困難リスト第3版」を参考に作成

署名をお願いします！

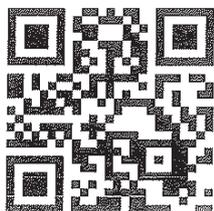
皆さんからいただいた大切な署名を各政党の党首に提出し、LGBT平等法の制定を目指しています。

LGBT平等法は、LGBTに限らないさまざまな属性による差別をなくし、
平等な社会を実現する一つの大きなステップです。

「EqualityActJapan - 日本にもLGBT平等法を」キャンペーンに、ぜひ署名をよろしくお願いします。

オンライン
署名は
こちらから

equalityactjapan.org ▶▶



LGBT 関連団体の全国連合会「LGBT 法連合会」、世界最大級の国際人権 NGO「ヒューマン・ライツ・ウォッチ」、スポーツと LGBT に関する活動を展開する「アスリート・アライ」の 3 団体が協働し、国内外で、LGBT 平等法の制定を求める署名への賛同を呼びかけます。

【お問い合わせ】

EqualityActJapan事務局 info@equalityactjapan.org



@EqualityJapan



@equalityactjapan



「EqualityActJapan」